

目次

図書館、情報の集積・発信機能 …………… 1	図書館（本館）の一部を改修します …………… 4
寄贈図書一覧（平成30年1月～6月） …………… 3	お知らせ …………… 6

図書館、情報の集積・発信機能

野々村 修 一



今年の4月から図書館長を務めています野々村修一です。よろしくお願いたします。図書館は、ある人にとっては心安らぐ場であるかと思えます。特に、本が好きな人にとっては至福の時間を過ごせる貴重な場であるとも思えます。私に取っては、情報収集の場でした。

私が学生のときの話ですが、図書館は情報が詰まった場所であり、研究を進めるために非常に重要でした。大学4年生の卒業研究では半導体の研究室を選びました。研究室ゼミにて指導員からもらった英語の論文や本を読むと、訳の分からない数式やモデルが記載してあり、脚注番号が附されていました。今も同じですが、参考論文のリストには、脚注番号が振られた原典の論文や参考になる論文が纏められています。その数式やモデルの内容を理解するために、番号の論文（文献）を探し出して、その論文をコピーして読むという繰り返しでした。しばら

くすると、最初の論文に書いてあることが、おぼろげに把握ができた記憶があります。この様に、図書館は私に取って研究の情報を収集できる便利な所でした。

ご存じのように、情報という言葉には、以下の意味があるとウィキペディアに書かれています。

- (1) ものごとの内容や事情についての知らせのこと。
- (2) 文字・数字などの記号やシンボルの媒体によって伝達され、受け手において、状況に対する知識をもたらしたり、適切な判断を助けたりするものこと。
- (3) 生体が働くために用いられている指令や信号のこと。
- (4) 情報理論（通信理論）での用法。価値判断を除いて、量的な存在としてとらえたそれ

(3) は神経伝達機構 (ニューロン) やDNA等の遺伝子の情報に関係したもの。(4) はデジタル通信等の基盤となる情報理論で使用されます。つまり、1, 0により構成されるビットであり、量的な存在です。あるビットの集合体が内容を表します。(1) の一番原始的な「知らせ」の例は、火や声を用いて仲間に危険を知らせていました。さらに、動物の絵を壁画に描く、パピルス紙に文字を書いて先人が得た知識を後進に伝え、彼らの判断を助けることが(2) に対応します。

私が図書館で論文を読めたのは、先人が考えた科学技術等の内容を「後世に残す」という重要な社会システムができあがっていたからです。科学技術の分野では、論文という形で先人がジャーナル誌等に記録を残すことにより、我々は先人と同じ経験や過程を踏まなくても、先人が到達したところから出発できる大きな利点となります。これは、科学技術の進化にとって非常に重要な役割を果たしていることが分かっていただけだと思います。本として残すこと自体が情報を保存し、後進に情報を伝達・発信していることになるわけです。

また、学会や国際会議で研究成果を発表することも情報の発信となります。30年位前は、1枚ごとの資料・図面を写真に写し、ネガフィルムとして焼き付け、映写機を用いて投影していました。図書館が18時くらいに閉まるので、学会等への出発前日に図書館でネガフィルムの焼き付けを焦りながら行っていた記憶があります。その後、透明なプラスチックフィルムが用いられ、サインペンでの手書きから、コピー機の普及により、コピー出力ができるようになりました。皆さんもご存じのように、現在はモバイルコンピューターの発展に伴い、発表にはパワー

ポイントとプロジェクターが使用されるのが一般的となり、着実に便利になっています。

今、インターネットの普及により、電子書籍、電子ジャーナル誌が急速に普及しています。従来の蔵書も電子化の作業が進められていますので、図書館の蔵書が大幅に増加することはなくなりつつあるわけです。推薦図書として、蔵書を充足していきませんが、余裕のある空間を利用して、図書館に新しい機能を追加する動きが出てきました。それは、アーカイブ・コアを図書館に設置する案です。岐阜大学における学術アーカイブズとは、「文書」や「史料」、また「美術作品」等貴重な学術資源の保存と活用を目的とした施設や仕組みを意味します。古文書や岐阜大学の歴史を刻む本だけでなく、甲冑や貴重な植物・動物標本、さらに岐阜大学が貢献した研究成果や実験装置等も含まれるわけです。つまり、岐阜大学図書館に博物館、科学館の機能も持たせるのです。

2019年6月1日、岐阜大学創立記念日にアーカイブ・コアがオープンすることをお知らせして本稿の閉めにしたいと思います。情報を集積・発信してきた図書館が、さらに皆様に有効活用されることを期待しています。

(ののむら しゅういち：学術研究・情報担当理事、副学長、図書館長、研究推進・社会連携機構長)

寄贈図書一覧（平成30年1月～6月）

平成30年1月～6月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございました。

●塚田敬義（医学系研究科）

・生命倫理・医事法. 改訂版／塚田敬義, 前田和彦・編著

【本館3階 490.15 || Sei】

～内容紹介～

本書は、2015年発行の改訂版です。執筆陣は、前回に加えて2名の先生を迎えて13名ですが、執筆者の専門領域に合わせて割り振り、理解しやすくを心がけ、図表を加えるなど工夫をしました。出版の意図が支持され、版を重ねていきたいと執筆者一同考えています。

●矢橋透（教育学部）

・ヌーヴェル・ヴァーグの世界劇場：映画作家たちはいかに演劇を通して映画を再生したか／矢橋透著

【本館3階 778.235 || Yab】

～内容紹介～

フランスヌーヴェルヴァーグ映画の作家たちの作品創造を、演劇との関連というこれまであまり論じられたことのない視点から、総合的に明らかにしようとした著作です。『文學界』での連載に加筆して刊行されました。

●富樫幸一（地域科学部）

・キーワードで読む経済地理学／経済地理学会編
【本館3階 332.9 || Kei】

～内容紹介～

グローバル化が進む中で、ローカルな都市や地域への関心が再び高まっています。地域経済といっても、人口や経済の規模は、歴史や制度、慣行によって世界や日本でも多様で、その現在の姿を学ぶのに役立ちます。

※内容紹介は著者または編者本人による



図書館では引き続き、先生方の自著の寄贈および内容紹介文をお待ちしております。

寄贈受付

図書館本館2階事務室 受入・目録係（内線：2186）

医学図書館2階カウンター 医学図書館係（内線：6590）

URL：https://www.lib.gifu-u.ac.jp/info_teacher/entry21-640.html（学内専用）

図書館（本館）の一部を改修します

岐阜大学創立70周年記念事業の一環として、図書館2階に「大学の歴史、大学・学部紹介コーナー」「資料収蔵庫」「展示ギャラリー」からなる「アーカイブ・コア」の設置が予定されています。

※岐阜大学創立70周年記念事業およびアーカイブ・コアの概要については、岐阜大学Webサイトの特設ページをご覧ください。

●岐阜大学創立70周年記念事業

URL : <https://www.gifu-u.ac.jp/70th/70th.html>

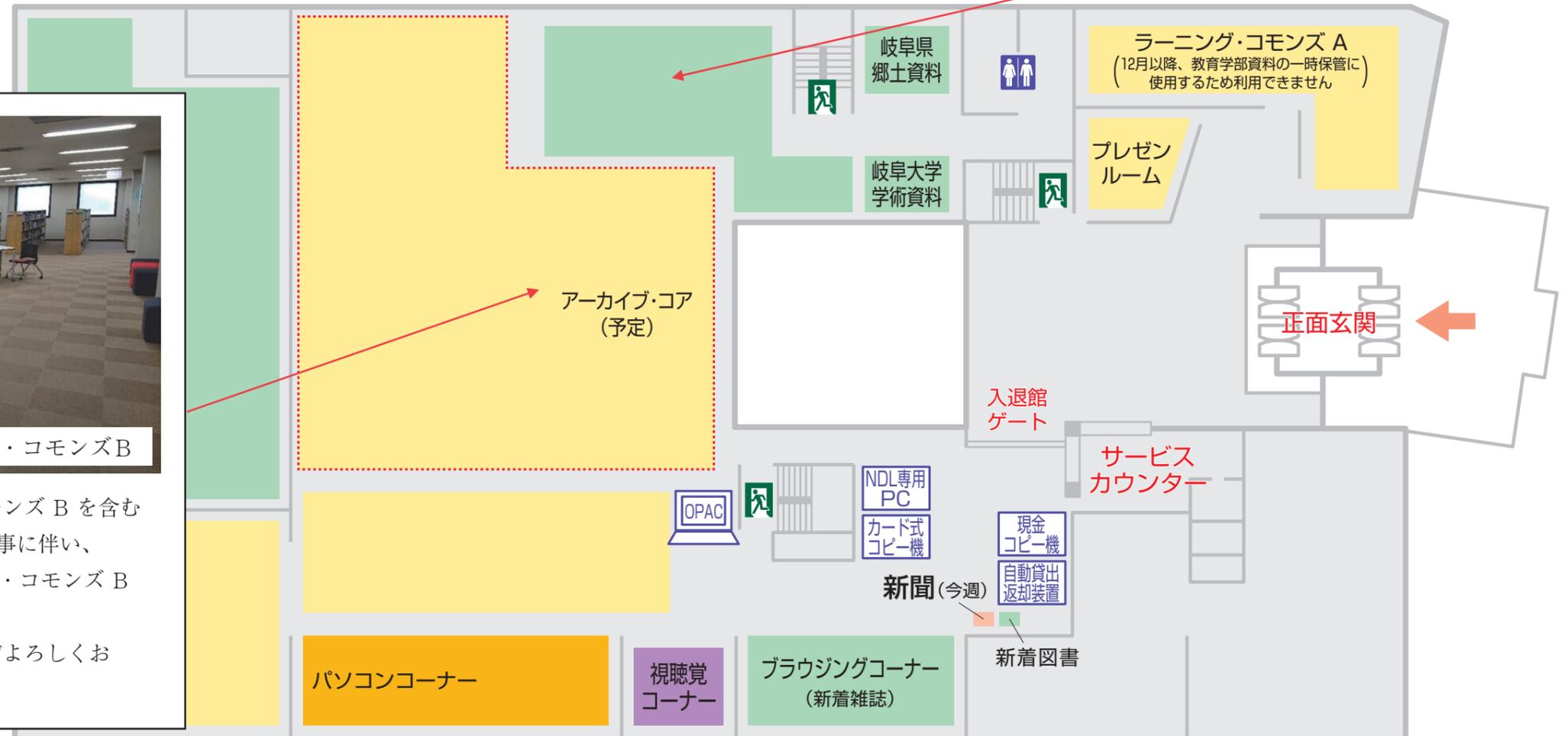



平成 30 年 7 月に行った設置工事の事前準備として、現在のラーニング・コモンズ B にあった書架を北側に移設しました。こちらは工事期間中もご利用いただけます。「留学生/辞書/シラバス/キャリア関連」(シラバス 他)の各コーナーは北側に、「留学支援/外国語読本」(留学支援 他)の各コーナーは階段前にあります。



ラーニング・コモンズ B

「アーカイブ・コア」は、現在のラーニング・コモンズ B を含むエリアに設置される予定です。そのため、設置工事に伴い、平成30年10月から12月(予定)の間、ラーニング・コモンズ B がご利用いただけません。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



図書館(本館2階)MAP

//// お 知 ら せ ////

図書館講習会の開催について

岐阜大学図書館では、毎年、春（5月～6月）と秋（10月～11月）に資料の探し方や文献検索などのさまざまな講習会を行っています。

日程が決まり次第図書館Webサイト等でお知らせいたしますので、積極的な受講をお待ちしております。

学習や研究に、是非お役立てください。

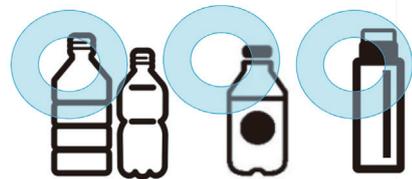
図書館の飲食ルール：持ち込み可能な飲み物について

館内は原則飲食禁止となっておりますが、水分補給等の健康上の理由から、フタ付きの容器に入った飲み物に限っては持ち込み可能としています。皆が気持ちよく図書館を利用できるよう、ご協力をお願いします。

【持ち込み可】

ねじ式のフタ付き容器に入った飲み物はOKです。

例：ペットボトル、スクリュージャップの缶、マイボトル



【持ち込み不可】

フタのないものは不可です。また、フタがあっても、倒れれば簡単にこぼれる物は不可です。

例：カップ、紙パック、プルトップ式の缶、チルドカップ、トラベラーリッド付きカップ（コンビニでテイクアウトするホットコーヒーなど）

